WLI2-CF-S11 マニュアル らくらく！セットアップシート

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□無線アダプタ（子機）........................1枚　□AirNavigator CD..........................1枚

□らくらく！セットアップシート（本紙）..........................1枚
□安全にお使いいただくために必ずお読みください..........1枚
□ユーザー登録はがき・保証書 1枚

※本製品は、本紙によってセットアップや設定ができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。本紙よりも詳細な情報が必要な場合は、AirNavigator CD内の電子マニュアルを参照してください。
※ユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

WindowsXP/Me/2000/98を搭載したパソコンで本製品を使う場合は、CD-ROM「**AirNavigator CD**」内の「マニュアルを見る」→「無線アダプタ（子機）設定例」→「Windows機へのドライバインストールと設定方法」を参照してください。

WindowsCE（PocketPC）で使う

本紙では、WindowsCEを搭載したPocket PCおよびハンドヘルドPCで、本製品を使うための操作手順を説明します。

ステップ1 無線アダプタ(子機)を取り付ける前に

本製品のドライバをインストールする前に、WindowsCE機とWindows搭載パソコンを、Microsoft ActiveSyncで接続してください。ActiveSyncの使いかたは、WindowsCE機のマニュアルを参照してください。

メモ

CASIO社製I'agenda BE-500で本製品を使用する場合は、ActiveSyncではなく「PC接続」を使用します。また、ドライバは、BE-500専用のものをインストールします。添付のCD-ROM（AirNavigator CD）の中の［CFS11G］－［BE500］フォルダの中にある、Setup.exeファイルをダブルクリックし、ドライバをインストールしてください。

※ステップ**2**「ドライバをインストールしよう」の操作では、BE-500専用ドライバをインストールできません。

ステップ2 ドライバをインストールしよう

無線アダプタ（子機）のドライバをインストールします。

ここからはパソコンの操作です

1. 添付のCD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットします。しばらくすると、AirNavigatorが起動します。

2.
1「WindowsCE機へドライバをインストールする」を選択します。
2［実行］をクリックします。

3. ［はい］をクリックします。

4. 「アプリケーションのダウンロードが完了しました」と表示されたら、［OK］をクリックします。

メモ

「インストールの完了に必要な手順がないか、モバイルデバイスの画面を確認してください。」と表示されますが、ここでは確認の必要はありません。［OK］をクリックしてください。

ステップ3へつづく

ステップ3 無線アダプタ(子機)を取り付けよう

ここからはWindowsCE機の操作です

1. WindowsCE機の電源をOFFにします。
2. 無線アダプタ（子機）を、WindowsCE機のコンパクトフラッシュスロット（TYPE II）に取り付けます。

注 意

取り付け／取り外しに関する注意
・WindowsCE機および周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルに記載されている方法に従ってください。
・無線アダプタ（子機）を取り付けたり、取り外したりするときは、WindowsCE機の電源をOFFにしてください。
・各コネクタのチリやホコリなどは、取り除いてください。
・無線アダプタのコネクタ部分には手を触れないでください。
・無線アダプタをWindowsCE機に取り付けるときは、コネクタの向きに注意してください。無理に押し込むと、コネクタが破損する恐れがあります。

Windows CE .NETの場合は、**裏面**を参照してください。

Windows CE 3.0の場合

ステップA4 IPアドレスを確認しよう

無線LANに接続するためには、WindowsCE機に有効なIPアドレスが割り当てられている必要があります。次の手順で、WindowsCE機のIPアドレス設定を確認します。

1. 無線アダプタを取り付けると、WindowsCE機の電源がONになります。電源が自動でONにならないときは、手動でONにしてください。
2.
1 IPアドレスの設定を確認します。
2［OK］をタップします。

メモ

・ネットワーク内にDHCPサーバが存在するときは、「IPアドレスをDHCPサーバから取得」を選択します（AirStationのDHCPサーバ機能使用時など）。
・IPアドレスを手動で設定するときは、「IPアドレスを指定」を選択します。IPアドレスなどの設定については、WindowsCE機のマニュアルを参照してください。
※IPアドレスなどの設定については、WindowsCE機のマニュアルを参照してください。

注 意

「認識されなかったカード」画面が表示されたときは、無線アダプタ（子機）が正常に動作していません。ステップ**2**「ドライバをインストールしよう」を参照して、ドライバを再インストールしてください。

［キャンセル］をタップします。

ステップA5へつづく

ステップA5 無線アダプタ（子機）を設定しよう

無線LANに接続する方法には、次の2つがあります。お使いの環境に合わせて、設定方法を選択してください。
■AirStationなどのアクセスポイント（親機）に接続する／FreeSpotで使う
■アクセスポイントのない環境で、無線パソコンと接続する

AirStationなどのアクセスポイント(親機)に接続する／FreeSpotで使う

1. WindowsCE機で、［スタート］－［設定］を選択します。
2. ［コントロール パネル］または［システム］をタップします。
上記のうち、どちらか画面に表示されている項目をタップしてください。表示される項目は、WindowsCE機により異なります。
3.
［BUFFALO無線LAN設定］をタップします。

メモ

「BUFFALO無線LAN設定」アイコンが表示されないときは、無線アダプタ（子機）をWindowsCE機に取り付けた状態で、WindowsCE機のリセットボタン※を押し、再起動してください。リセットボタンの位置については、WindowsCE機のマニュアルを参照してください。
※リセットボタンとは、WindowsCE機を再起動するボタンです。メモリの内容を消去して、工場出荷時設定に戻すボタンとは異なりますので、注意してください。

4.
1 必要に応じて、無線LAN環境の設定をします。
2［適用］をタップします。

メモ

・入力した［環境設定］の名前で、設定が保存されます。
・［モード］はアクセスポイント経由通信に設定します。［ESS-ID］に、通信するアクセスポイントのESS-IDを入力します。ESS-IDについての詳細は、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
・［転送速度］は自動にします。
・［省電力モード］にはチェックマークを付けないでください。チェックマークを付けると、正常に通信できないことがあります。

5.
1［暗号化］をタップします。
2 暗号化キー（WEP）が設定されたアクセスポイントに接続するときは、WEPの種類（40bitまたは128bit）を選択します。
暗号化キーが設定されていないアクセスポイントに接続するときは、［無効］を選択し、手順**6**に進んでください。
3［暗号化キーを入力する］を選択します。
4［文字列］または［16進数］を選択します。

6.
1［Key1］に暗号化キーを入力します。
2［送信キー］を選択します。
通常は1を選択します。
複数の暗号化キーに対応しているアクセスポイントに接続する場合は、送信キーとそれに対応した暗号化キーを入力します。
3［適用］をタップします。

7.
1［接続状態］をタップします。
2 接続先に［接続］と表示されたら、アクセスポイントへの接続は完了です。
接続先アクセスポイントの無線側MACアドレス、無線チャンネル、送信速度、データ送受信状況、接続状態、電波状態を確認できます。

アクセスポイントのない環境で、無線パソコンと接続する

1. WindowsCE機で、［スタート］－［設定］を選択します。
2. ［コントロール パネル］または［システム］をタップします。
上記のうち、どちらか画面に表示されている項目をタップしてください。表示される項目は、WindowsCE機により異なります。
3. ［BUFFALO無線LAN設定］をタップします。

メモ

「BUFFALO無線LAN設定」アイコンが表示されないときは、無線アダプタ（子機）をWindowsCE機に取り付けた状態で、WindowsCE機のリセットボタン※を押し、再起動してください。リセットボタンの位置については、WindowsCE機のマニュアルを参照してください。
※リセットボタンとは、WindowsCE機を再起動するボタンです。メモリの内容を消去して、工場出荷時設定に戻すボタンとは異なりますので、注意してください。

4.
1 必要に応じて、無線LAN環境の設定をします。
2［適用］をタップします。

メモ

・入力した［環境設定］の名前で、設定が保存されます。
・［モード］は無線LANパソコン間通信に設定します。
・［ESS-ID］を入力する必要はありません。
・［転送速度］は自動にします。
・［省電力モード］にはチェックマークを付けないでください。チェックマークを付けると、正常に通信できないことがあります。
・［無線チャンネル］は通信する無線パソコンと同じチャンネルを選択します。

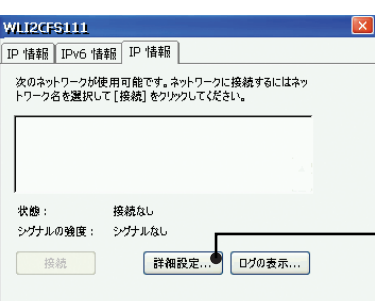
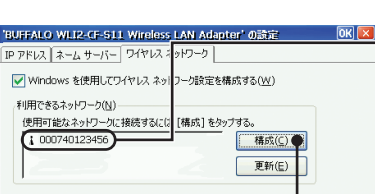
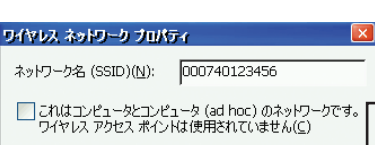
5. **1**［暗号化］をタップします。
2 暗号化キー（WEP）が設定されたパソコンに接続するときは、WEPの種類（40bitまたは128bit）を選択します。
暗号化キーが設定されていないパソコンに接続するときは、［無効］を選択し、手順**6**に進んでください。
3［暗号化キーを入力する］を選択します。
4［文字列］または［16進数］を選択します。

6.
1［Key1］に暗号化キーを入力します。
2［送信キー］を選択します。
通常は1を選択します。
複数の暗号化キーに対応している無線アダプタを搭載したパソコンに接続する場合は、送信キーとそれに対応した暗号化キーを入力します。
3［適用］をタップします。

7. **1**［接続状態］をタップします。
2 接続先に［無線LANパソコン間通信中］と表示されたら、無線パソコンとの接続は完了です。
無線チャンネル、送信速度、データ送受信状況を確認できます。

これで無線アダプタ（子機）の設定は完了です。
「BUFFALO無線LAN設定」画面右上の［OK］をタップして、画面を閉じます。

Windows CE .NETの場合

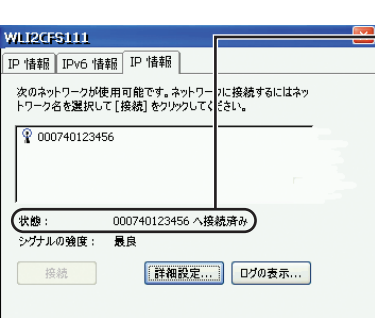
ステップB4 無線アダプタ（子機）を設定しよう

無線LANに接続する方法には、次の2つがあります。お使いの環境に合わせて、設定方法を選択してください。
■AirStationなどのアクセスポイント（親機）に接続する／FreeSpotで使う
■アクセスポイントのない環境で、無線パソコンと接続する

メモ
ここでは、各WindowsCE機で個別に暗号化キー（WEP）を設定する場合を例に説明します。IEEE802.1x認証を使用するネットワークなどに接続する場合は、ネットワーク管理者またはプロバイダに設定方法を確認してください。

AirStationなどのアクセスポイント（親機）に接続する／FreeSpotで使う

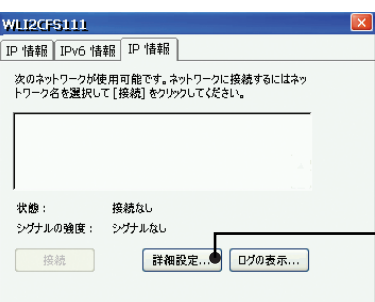
❶ **WindowsCE機の電源をONにします。**
しばらくすると、ネットワークの設定画面（WLI2CFS11）が表示されます。
設定画面が自動的に表示されないときは、画面右下のネットワーク接続アイコン（またはアイコン）をダブルタップします

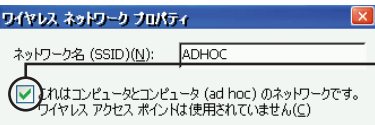
❷ [詳細設定] をタップします。
左の画面が表示されていないときは、右側の[IP情報] タブをタップします。

❸
1 アクセスポイント（親機）のESS-IDを選択します。
ESS-IDについては、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
ESS-IDが表示されないときは、［更新］をタップしてください。
2 ［構成］をタップします。

❹
1 ［データ暗号化(WEP 有効)］だけにチェックを付けます。
暗号化キーが設定されていないアクセスポイントに接続するときは、すべてのチェックを外し、手順❻に進みます。
2 [WEP キーを修正する］をタップします。

❺
1 ［ネットワーク キー］（暗号化キー）を入力します。
2 ［キーの形式］(16進数またはASCII文字）を選択します。
3 ［キーの長さ］(40ビット/5文字または104ビット/13文字)を選択します。
4 ［キー インデックス］(送信キー）を入力します。
5 ［OK］をタップします。

メモ
・［ネットワーク キー］、［キーの形式］と［キーの長さ］は、アクセスポイントの設定と同じにしてください。
・［キー インデックス］（送信キー）は、通常、0（ゼロ）を入力します。
複数の暗号化キーに対応しているアクセスポイントに接続する場合は、キーインデックスとそれに対応した暗号化キーを入力します（「補足情報」参照）。

❻ ［OK］をタップします。

❼
状態に「○○○○○○へ接続済み」と表示されたら、アクセスポイントへの接続は完了です。
○○○○○○はアクセスポイントのESS-ID（ネットワーク名）です。

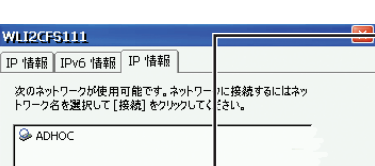
アクセスポイントのない環境で、無線パソコンと接続する

メモ
以降の操作は、既に他の無線パソコンでの設定が完了していることを想定しています。Windows CE機の設定をする前に、無線パソコンでの設定を完了しておいてください。

❶ **WindowsCE機の電源をONにします。**
しばらくすると、ネットワークの設定画面（WLI2CFS11）が表示されます。
設定画面が自動的に表示されないときは、画面右下のネットワーク接続アイコン（またはアイコン）をダブルタップします

❷
[詳細設定] をタップします。
左の画面が表示されていないときは、右側の[IP情報] タブをタップします。

❸
1 通信相手（無線パソコン）のESS-ID（ネットワーク名）を選択します。
ESS-IDは、無線パソコンで設定した任意の文字列です。
ESS-IDが表示されないときは、［更新］をタップしてください。
2 ［構成］をタップします。

❹
1 ［これはコンピュータとコンピュータ(ad hoc)のネットワークです。(略)］と［データ暗号化(WEP)］だけにチェックを付けます。
暗号化キーが設定されていない無線パソコンに接続するときは、すべてのチェックを外し、手順❻に進みます。
2 ［WEP キーを修正する］をタップします。

❺
1 ［ネットワーク キー］（暗号化キー）を入力します。
2 ［キーの形式］(16進数またはASCII文字）を選択します。
3 ［キーの長さ］(40ビット/5文字または104ビット/13文字)を選択します。
4 ［キー インデックス］(送信キー）を入力します。
5 ［OK］をタップします。

メモ
・［ネットワーク キー］、［キーの形式］と［キーの長さ］は、無線パソコンの設定と同じにしてください。
・［キー インデックス］（送信キー）は、通常、0（ゼロ）を入力します。
複数の暗号化キーに対応している無線パソコンに接続する場合は、キーインデックスとそれに対応した暗号化キーを入力します（「補足情報」参照）。

❻ ［OK］をタップします。

❼
状態に「○○○○○○へ接続済み」と表示されたら、無線パソコンへの接続は完了です。
○○○○○○は無線パソコンのESS-ID（ネットワーク名）です。

これで無線アダプタ（子機）の設定は完了です。
ネットワークの設定画面(WLI2CFS11)右上の[×]をタップして、画面を閉じます。

メモ
ネットワーク内にDHCPサーバが存在しない場合や、無線パソコン間（ad hoc）で通信する場合は、手動でIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスを手動で設定するには、手順❸の画面で［IPアドレス］タブをタップします。
※IPアドレスなどのネットワークに関する設定については、WindowsCE機のマニュアルを参照してください。

補足情報

電子マニュアルの読み方

❶ CD-ROM「AirNavigator CD」をパソコンにセットします。
❷ ［マニュアルを見る］を選択し、［実行］をクリックします。
❸ 「設定ガイド ネットワーク構築例」を選択し、［OK］をクリックします。
❹ 表示させたい項目を選択し、［OK］をクリックします。
パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていないときは、Adobe Acrobat Readerのインストールが始まります。画面に指示にしたがって、インストールを完了してください。

本製品を取り外す（WindowsXP/Me/2000/98）

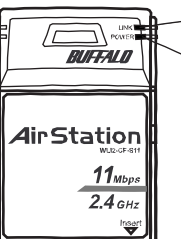
WindowsXP/Me/2000/98の**動作中**に本製品を取り外すときは、以下の手順にしたがってください。

❶ クライアントマネージャが起動している場合は、終了させます。
❷ タスクトレイに表示されている取り外しアイコン（ ）をクリックし、［BUFFALO WLI2-CF-S11 Wireless LAN Adapterを安全に取り外します］を選択します。
取り外しアイコンは、Windowsによって異なります(WindowsMe/2000: 、Windows98:)。
❸ 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、本製品を取り外します。

Windows CE .NETで使用するときの注意

・ESS-ID（ネットワーク名）を変更したときに、設定画面に正しいESS-IDが表示されないことがあります。この場合は、Windows CE .NET機の電源をOFF→ONしてください。
・「ANY接続」を許可しない設定にしたアクセスポイントに接続することはできません。「ANY接続」の設定方法については、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
・本製品のIPアドレスを手動で変更したときは、変更を有効にするために、Windows CE .NET機の電源をOFF→ONしてください。
・WEPのキー番号（キー インデックス、送信キー）は、無線LAN製品やOSのバージョンによって表記が異なる場合があります。
例えば、Windows CE .NETでは0〜3の番号でキー番号を設定しますが、AirStationのWeb設定画面やクライアントマネージャでは1〜4の番号で設定します。このような場合、Windows CE .NETのキー番号「0」がAirStationでの「1」に対応します。同様に、Windows CE .NETでのキー番号1、2、3がAirStationでの2、3、4に対応します。

仕様

各部の名称とはたらき

LINKランプ：データ送受信時、緑色に点灯
POWERランプ：本製品動作時、緑色に点灯
※POWERランプが点灯しないときは、無線カードのドライバが正しくインストールされていない可能性があります。AirNavigatorCDからAirNavigatorを起動して、「マニュアルを見る」→「設定ガイド 無線ドライバについて」→「インストール結果の確認方法」を参照して、ドライバが正しくインストールされているか確認してください。

主な仕様

無線LANインターフェース	準拠規格	RCR STD-33、ARIB STD-T66(小電力データ通信システム規格)
		IEEE802.11b(無線LAN標準プロトコル)
	伝送方式	DS-SS方式(IEEE802.11準拠)、半二重(Half Duplex)
	通信距離	11Mbps時 屋外160m(見通し)、屋内① 50m(見通し)、屋内②25m(見通し) 2Mbps時 屋外400m(見通し)、屋内① 90m(見通し)、屋内②40m(見通し) 1Mbps時 屋外550m(見通し)、屋内①115m(見通し)、屋内②50m(見通し) ※屋内①：障害物の少ないオフィス、屋内②：障害物の多いオフィス。 ※通信距離は環境により影響されます。次の場合、電波の届く距離が短くなることがあります。 ・マンション等の鉄筋コンクリートの建物内、及び構造に金属が使用されている住宅。 ・大型の金属製家具の近くなど。
ホストインターフェース		コンパクトフラッシュType II
対応パソコン(*1)		コンパクトフラッシュType II スロットを装備したPocketPC(WindowsCE.NET機、WindowsCE3.0機、H/PC2000機)、WindowsXP/Me/2000/98パソコン
対応OS(*2)		Windows CE .NET、Windows CE 3.0、Pocket PC 2002、Windows XP/Me/2000/98
送信周波数範囲		2412〜2484MHz(中心周波数、全14チャンネル)
データ転送速度		11/5.5/2/1Mbps
セキュリティ		128(104)/64(40)ビットWEP
消費電力/消費電流		最大1122mW(3.3V) / 最大340mA(送信時)
動作環境		温度：0〜55℃、湿度：20〜80%(結露なきこと)
外形寸法/重量		43.0(W)×5.0(H)×62.0(D)mm (突起物含まず) / 18.5g

*1 本製品は弊社製無線LAN製品やWi-Fi認定済みの無線LAN製品、およびAirMacと通信できます。ただし、AirMacと通信する場合は、弊社製AirStationを使用する場合があります。
デュアルプロセッサ搭載機種には対応していません。
弊社製プリントサーバLSPシリーズ、および、弊社製ネットワーク診断ツールNetSeekerには対応していません。
WindowsCE.NET機は、NTT DoCoMo社製sigmarionIIIのみ動作確認済みです（2003年7月18日現在）。
*2 サスペンド/レジュームには対応していません。
※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

困ったときは

●無線カード（子機）のドライバがインストールできない場合
⇒Windows XP/2000では、コンピュータの管理者権限があるユーザー（Administratorなど）でログインしてください
※Windows XP/2000で登録したユーザーは、制限つきアカウントに設定しない限り、コンピュータの管理者権限を持っています。
⇒CyberTrio-NXがインストールされているNEC製PC98-NXシリーズをお使いの場合は、アドバンストモードに設定してください。詳細は、パソコンのマニュアルを参照してください。

●PCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合
⇒PCカードスロットが一つだけのパソコンでは、CD-ROMドライブと無線カードを同時に使用できません。「AirNavigator CD」内のファイルをハードディスクにコピーしてから、セットアップをおこなってください。
1.デスクトップ上に新しいフォルダを作ります。
2.AirNavigator CD内のすべてのファイルを、そのフォルダにコピーします。
3.コピーが終わったら、コピー先の［SETUP］アイコン（ ）をダブルクリックします。

●パソコン同士をネットワークで接続する場合
⇒各パソコンにネットワークの設定が必要です。Windowsのマニュアルやヘルプを参照して設定してください。また、CD-ROM「AirNavigator CD」内の「マニュアルを見る」→「設定ガイド ネットワーク構築例」→「TCP/IPの設定例と共有設定例」にも設定例が記載されていますので、参考にしてください。

●アクセスポイント（親機）を使わずに無線パソコン同士で通信する場合
⇒CD-ROM「AirNavigator CD」内の「マニュアルを見る」→「設定ガイド ネットワーク構築例」→「無線LANパソコン間で通信する場合の設定方法」を参照してください。

●その他、困ったときは
⇒CD-ROM「AirNavigator CD」内の「困ったときは？」を参照してください。

■電波に関する注意
●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
●次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります）。
※弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G）、他社製の無線プリンタバッファなどで2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
●本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
●本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
①構内無線局（免許を要する無線局）
②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

らくらく！セットアップシート
2003年 7月 18日 第2版 発行 株式会社メルコ